

本物。品訪

鹿兒島県 特産 特探

2012かごしまの新特産品コンクール
鹿兒島市長賞

100周年記念

車掌かばん・復刻版

鹿兒島市の路面電車運行100周年を記念し、同市交通局に保存されていた車掌かばんを復刻させた限定生産品。上質な牛革を丁寧に縫い上げ、内ポケットに交通局のき章を施すなど細部までこだわった逸品です。鹿兒島市の丸山革具店店主橋口康隆さんにお話を伺いました。

格好いいかばんですね

製作過程で注意していることは

これからの目標は



100周年記念
車掌かばん・復刻版
税込18,900円 (17.5cm×23cm×7cm)

※シリアルナンバー入りの100個限定受注生産です。
数に制限のない車掌かばん(通常版)もあります。

当店では、先代店主の頃から鉄道会社向けに車掌かばんを作っています。車掌かばんを作っている店は全国的にも少ないため、県外の一般のお客さまからも多くの注文をいただきます。2012年は鹿兒島市の路面電車運行100周年に当たることから、同市交通局に保存されていた古い車掌かばんの型を取って、復刻版として現代に蘇らせました。当店で作っている通常の車掌かばんよりも高さのある作りになっています。今回のコンクール入賞の反響は大きく、全国から問い合わせをいただいています。

かばん作りに欠かせない天然素材である「革」は、それぞれが一点物で、一枚の革でも使える部分と使えない部分があります。革に傷がないか、かばんに使えるかの見極めは難しいのですが、とても大事なポイントですね。その後は、革に型紙をあてて切り取り、厚くて固い革を足踏みミシンで丁寧に縫い上げていきます。

車掌かばん以外にも、さまざまな専門職種の方が使用する作業かばんやトートバッグなどを作っています。例えば「大島紬」など、鹿兒島の特産品と革を組み合わせたかばんを作りたいですね。以前「泥染め」を施した生地を使用してかばんを作ったところ、お客さまに大変好評だったので、新しい作品を開発したいと考えています。「さすが丸山革具店」と言われるよう、今後もお客さまの要望や信頼に応えるかばんを作っていきたいですね。

金具のボタンを押しながら口を開く仕組み。大きく開くので使いやすいところも魅力です。

また、かばんの修理も行っているため、かばんの欠点や弱い部分を知ることができ、さらに丈夫なかばん作りのために役立っています。



「若い革職人に職人魂・技術を伝えていきたいですね」と話す橋口さん(中央)と革職人の村田さん(右)・今和泉さん(左)

プレゼントコーナー

車掌かばん(通常版)を1名様にプレゼント。

応募締切 平成25年2月28日(木)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業
⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

はがき宛先 〒890-8577 鹿兒島市鴨池新町10-1 鹿兒島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告